

平成28年度 委員会事業のポイント

安全委員会

健康で安全に就業出来る環境づくりを目指して安全委員会は『安全と健康が第一』を基本に、四つの柱で取り組みます。〈安全パトロール〉は、就業先を不定期訪問し、就業中の事故の絶無を目指します。〈交通安全〉は、今年も自転車事故ゼロを目指します。昨年、改正道路交通法のチラシを月報に同封し講習会を3回開催しました。会員の皆様がルール、マナーについてチョット意識していただいたことで初めて自転車事故はゼロでした。〈健康講座〉は、西宮保健所のご協力で夏冬2回開催します。〈救命講習会〉は、西宮消防署のご協力で指導員育成に努めながら開催します。

総務委員会

会員増強による組織対応力の強化
総務委員会では新入会員の増強と定着を基本テーマに掲げます。当センターの3月末の会員数は2,238人で着実に増えていますが、1.6%台の粗入会率(会員数÷60歳以上の人口)は他市センターに比べ高くありません。新入会員の早期就業による定着を図り、退会者数を少しでも減らすための取組みが重要になります。仕事の概要やシルバー会員としての楽しみ方などについて、入会説明会での丁寧な説明と需要が増加傾向にある家事支援への対応力を高めるためのさまざまな企画を検討するほか、地区からのご要望に応じて昨年度同様に出前入会説明会も行う予定です。

企画・広報委員会

情報発信力の強化による交流の活発化
企画・広報委員会では、会員の皆さんが当センターの活動に関心を持ち、さまざまな活動に参加いただけるよう広報活動に取り組みます。特に「月報シルバーにしのみや」の刊行にあたっては、今まで以上に地区地域班や就業現場からの活動状況を伝えていきます。さらに、センターと市民との接点の拡大を図るために、また会員相互の交流促進のために、シルバーフェアや研修バスツアーなど魅力的な事業を企画していきます。

❖❖熊本地震/震災義援金ご協力に感謝❖❖

当センターでは熊本地震による被災者を支援するため、募金活動を行ってきました。普段はセンター事務所に設置する募金箱を、5月27日は定時総会会場の勤労会館に移動し、多くの会員の皆さまにご協力いただきました。6月30日に一旦締め切り、29,848円の義援金を市役所窓口に持参しました。会員の皆さまのご協力に感謝すると共に、一日も早い復興をお祈りしたいと思います。尚、本募金は来年3月31日まで延長されることになっており、引き続きセンター事務所に募金箱を設置致します。

❖❖手作り救援物資贈る❖❖

独自事業『あいつこの会』では、避難先で過ごされている被災者の方々がどのようなものを希望されているのかをまず調査しました。その結果、就寝時に使用できるアイマスク1個と持ち物を小分けする「巾着袋」大・中2個、併せて50セットを会員が手作りしました。そして一日でも早く、6月7日付けで



熊本県ボランティアセンター宛に発送すると共に、熊本県シルバー人材センター連合会にも報告しました。

■事務局職員の紹介 / 総務課■

総務課では、予算・決算や事業計画・報告、会計・経理、庶務、情報システムの管理、会員の配分金の計算や会費徴収、補助金申請や報告、職員の給与や福利厚生、外部の関係機関・団体との連絡調整、報告など当センターの運営に係る幅広い業務をおこなっています。

- 総務課長・総務課の統括
- 常勤職員・経理・庶務
- 常勤職員・経理・庶務

安全委員会からのお知らせ

安全委員会では、「安全と健康が第一」を基本に、会員の皆さまのお役にたてるよう講習会、イベントを実施してまいります。

■「夏の健康講座」に足をお運びください。

講座にお越しいただき、まず「元気」を確認！講座を聴いて、「元気」を継続するための知恵や知識をものにして夏場の毎日を「元気に健康」に過ごしましょう！

○日時：7月27日(水)13:30～15:00(予定)

○場所：センター2階 多目的室

○内容：「夏場の熱中症対策」

「健康寿命を意識した生活習慣のすすめ」

・講師：坂口和代 保健師

(西宮市保健所北口保健福祉センター)

○定員：30名

※お申し込みについては、同封の「講習会

・イベントの案内」をご覧ください。

今年も「びよびよサロン」を開催

市内の0歳から2歳児までのお子さんとそのお母さん12組が集まり、6月14日に「びよ



びよサロン」が広田山荘で開かれました。

この集いは、地域貢献事業として年に2回程度開かれているもので、会員5名が事務局と協力し、準備から運営まで行います。孫と一緒に遊ぶように歌いながらの指人形の動きに、おさんは大喜び。紙芝居や絵本の読み聞かせなど、楽しいひとときを過ごしました。(社会参画推進委員会)

センター無事故継続日数

就業中	92日
就業途上他	6日

平成28年6月30日現在

私たちの広報紙配布作戦 ～急な交代への対応

中央地区は、配送会員8名、配布会員69名で広報紙の配布を行っています。

当地区は配布会員の急な交代が頻発するため、交代可能会員の登録のほか、万が一に備えた引継ぎ資料の作成を配布会員に奨励しています。配布用の地図メモのほか、交代会員に一目でわかるように配布地区の特色や注意点を書いた引継ぎメモ、「一筆書き」の配布順路などです。急な配布者の交代で最も注意しなければならないのが配布漏れです。普段から配布用地図を整備し、引継ぎメモを作っておくことが重要ではないかと思えます。

(中央地区広報紙配布責任者)

就業チーム奮闘記～広田山荘

私たちのチームは6名で、広田山荘の管理運営を行う一人就業の職場です。

昨年度は24,087人の市民の方々にご利用いただきました。市の集会施設のため、お客様から市の関係者と思われることも多く、これに相応しい言葉遣い、行動を常に心がけています。年に1回、利用者からのアンケートを実施しており、昨年は143件の回答をいただきました。多くは古い施設に対する改善要望です。一方、管理人の対応は高く評価していただき、いつも気持ちよく利用しているとの感謝の意見が多く、仕事の励みになっています。

(広田山荘主任管理員)

レッスン50回目を迎えた『ワンコイン英語』

去る5月26日、独自事業「ワンコイン英語」では、50回目のレッスンが開講され、みごと連続受講された3名の方々が



表彰を受けられました。何十年も前に勉強したことを思い出し、発音や文法に悪戦苦闘しながら、共通の目的で集まる仲間との和気あいあいの楽しい時間が過ごせることが、長続きの秘訣とのこと。それ以上に、講師やお世話係の皆さんのご努力もなくてはならないものだと思います。

(取材/企画・広報委員会)